

日時

平成30年 11月3日 (土)
11:00~17:00

会場

静岡コンベンションアーツセンター (グランシップ) 904会議室
〒422-8005 静岡県静岡市駿河区池田79-4

プログラム

開場 (10:30)

研究発表 (午前の部: 11:00-11:50)

解釈の技法——ディルタイとガダマーの近さと隔たり

辻 春香 (名古屋大学大学院博士課程後期課程)

司会: 松田 純 (静岡大学大学院人文社会科学研究所)

お昼休み 11:50~13:00

研究発表 (午後の部: 13:00-13:50)

『物質と記憶』における「主観性」と円環構造

川里 卓 (名古屋大学大学院博士課程後期課程)

司会: 堂園俊彦 (静岡大学人文社会科学部)

シンポジウム (14:00-17:00)

宗教と科学技術—哲学から問いなおす

「科学技術」は発展を遂げ、支配的な地位を確立した。その圧倒的な影響力のもと、「宗教」は後景に退き、儀礼化が進んだ。しかし原発事故などによって、科学技術的世界観の「限界」が露呈すると、基層に位置する宗教的世界観が注目を集める。「宗教」と「科学技術」はいかなる関係にあるのか。「宗教」と「科学技術」とともに、私たちはどのように生きるべきなのか。「宗教と科学技術」の哲学的探究に挑戦したい。

趣旨説明

座長: 浅野 幸治 (豊田工業大学)

「科学と宗教の闘争史」再考

横山 輝雄 (南山大学)

技術時代における宗教

竹田 純郎 (金城学院大学)

科学技術と人間—危険と救いはどこにあるのか?

竹之内 裕文 (静岡大学農学部)

—— 休憩 ——

報告に関する質疑応答

宗教と科学技術をめぐる全体討議

* 会員以外の方でも参加可能です (参加費無料)。事前申込みの必要はありません。直接会場へお越し下さい。

* 各発表者のレジュメは、10月下旬に、哲学会のページに掲載されます。

<http://www.hss.shizuoka.ac.jp/shakai/ningen/research/shizutetsu.html>

静岡 岡 哲 学 会 大 会

第四一回

● 問合せ 静岡哲学会事務局 Email: shizuoka.philosophical.society@gmail.com Tel: 054-238-4488